

## 2024年4月7日 妙義山系 山急山 (春山山行)

メンバー L 谷内、岩田、森田、村中

上から読んでも、下から読んでも山急山。時計回りのコースで行って来ました(同時刻に出発した反時計回りコースの二人パーティとは山頂ですれ違いました。どちらのコースをとっても難易度はそれほど変わらないと思います)。谷内さんから(プチ)バリエーション認定をもらいましたので、森田さんにとっての初バリエーションとなりました。

5日(金曜)遅くまで雨が降り、滑落事故リスクを減らすため一日遅らせて7日(日曜)を選択しました。頂上付近以外は道標も少なくやや分かりにくく、ルートファインディング技術が必要なコースでした。

枯れ葉に埋もれた林道を10分歩いて小さな「登山道」の看板から涸れた沢の間の尾根を登る。10分進んだところで左側に尾根が張り出してきた。時計回りのコースとるためにこの尾根を登り始める。足場は小豆から母指頭大の軽石のザレ場で、急な斜面では滑りやすくイヤラシイ。岩峰を右に巻き、山頂下の棚道を通して山頂を目指す。山頂に近づくと、小さな目印(看板など)がいくつか出ており、トレースも比較的わかりやすい。9時半に山頂に到着。小さなスペース(4人がなんとか座れる程度)で軽食し下山。五輪岩へは短いナイフリッジもあるがそれほど恐怖感はない。丁津岩、浅間山を眺めて下山道分岐部へ戻る。ザレた急坂で、滑落したらそれなりに大きな怪我になりそうなルート。2ピッチ懸垂下降の訓練を行い、13時前に登山口駐車場に到着した。

### コースタイム

8:00 登山口駐車場 - 8:00 登山口 - 9:30 山急山山頂 - 9:50 五輪岩 - 12:45 登山口駐車場

